



院長ごあいさつ

仁愛堂クリニック院長の小林です。

内視鏡検査に力を入れている当院では、胃がんや大腸がんで辛い治療を受けたり、命を落としたりする人が1人でも減るために、がんの早期発見こそが何より重要だと考えています。そのためには、症状が出る前からの内視鏡検査を勧めております。

内視鏡検査は辛い、やりたくないと思っている方が大半だと思います。検査の必要性や、安全性、そして従来に比べ非常に楽に検査を行える旨を、1度受診して、お話をさせて頂ければと思います。1人でも多くの患者様が健やかな生活を送られるよう、定期的に検査を受けて頂ければ幸いです。

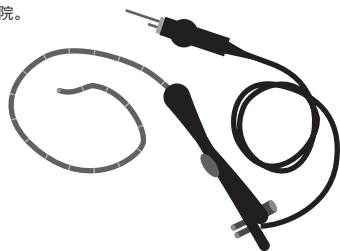
仁愛堂クリニック
院長 小林 俊一

略歴

- 札幌医科大学医学部卒業。
- 日本鋼管病院で初期研修後、東大宮総合病院にて消化器内科医として勤務。
- その後、西村記念病院勤務、行徳アフター5クリニック院長を経て、
- 2012年 仁愛堂クリニックを開院。
- 2014年 医療法人社団 俊爽会を発足。
- 2015年 菊川内科皮膚科クリニックを開院。
- 2016年 平井皮膚科クリニックを開院。

所属学会

- ・日本内科学会 内科認定医
- ・日本消化器病学会
- ・日本消化器内視鏡学会



仁愛堂クリニック

☎ 03-3613-5548

💻 <http://www.jinkuri.com>



〒132-0035
東京都江戸川区平井6-15-14

アクセス

- 『平井駅』北口出口より徒歩4分
- 『東あずま駅』出口から徒歩10分
- 『亀戸水神駅』出口から徒歩14分

診察時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:30	●	●	●	●	●	●	●
午後 15:00~19:00	●	●	●	●	●	/	/

休診日: 祝日



菊川内科皮膚科クリニック

☎ 03-5638-1515

💻 <http://www.kikukuri.com>



〒130-0024
東京都墨田区菊川2-1-4
ミヨシマンション1階

アクセス

- 『菊川駅』A2出口より徒歩2分
- 『森下駅』A6出口より徒歩8分
- 『清澄白河駅』B2出口から徒歩10分
- 『住吉駅』A1出口から徒歩13分

診察時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:30	●	●	●	●	●	●	●
午後 14:00~18:00	●	●	●	●	●	/	/

休診日: 祝日

麻酔薬などを使った
苦痛の少ない
内視鏡検査



- ✓ 毎日検査 (土日は午前のみ)
- ✓ 優しく・痛みが少ない
- ✓ 胃・大腸の同日検査可能

胃・大腸内視鏡検査 専門外来
<http://www.tokyo-endoscopy.com>

仁愛堂クリニック

☎ 03-3613-5548

菊川内科皮膚科クリニック

☎ 03-5638-1515

毎日検査可能!! 麻酔薬などを使った苦痛の少ない内視鏡検査

快適にストレスなく、胃・大腸の内視鏡検査を受けて頂くために、当院では検査の手法や診療時間の工夫など様々な取り組みを行っています。仕事帰りや、お休みの日などに気軽に内視鏡検査ができるクリニックとして、皆様の健康維持や疾患予防に努めていきたいと思っております。



当院の内視鏡専門外来の特徴

毎日検査可能

平日は午前・午後。土日は午前に検査を実施しています。

苦痛が少ない検査

カメラも小さいため、胃内視鏡・大腸内視鏡ともに苦痛は最小限。

最新の内視鏡システム

CMOSイメージセンサーを搭載した最新の内視鏡を導入することで、より詳細な画像処理を実現。従来では把握しにくかった微細な病変を早期発見できます。

胃・大腸の同日検査

来院回数と食事制限の回数が減り、医療費負担も軽減できます。

大腸ポリープ手術も同日実施で不安を残さない

検査で見つかったポリープをその日のうちに日帰り手術で切除できます。

ピロリ菌検査・除菌

保険適用でのピロリ菌の検査や除菌も対応しています(適応範囲はご確認下さい)。

豊富な実績と経験

経験豊富な院長を始め、熟練の内視鏡専門医が検査に当たります。女性内視鏡医も在籍。

内視鏡用炭酸ガス送気装置を導入

炭酸ガス送気で腹部の不快感を抑え、より楽な検査が可能です。

最新の大腸ポリープ手術法を採用

欧米で主流となっている高周波通電(電気メス)を用いないコールドポリープトミー(非通電切除)も採用しています。

内視鏡ドック

症状のない方でも40歳になってからは胃・大腸の定期検査が必要です。症状が出てからでは手遅れの場合もありますので、検査を受けて早期発見に努めましょう。

胃内視鏡検査

胃がんは、日本人のがん死亡原因第2位です。

胃がんはとくに日本人に多いがんで、毎年約5万人の方が亡くなっています。患者数はもっとも多いがんですが、早期に治療を行えば治癒することができます。

(出典:国立がん研究センターがん対策情報センター 2013)



胃内視鏡検査(胃カメラ)とは?

胃痛や胃もたれ、胸やけなどの症状の原因を調べるために行う検査です。

また、日本人にもっとも多いと言われる胃がんの早期発見・早期治療のためにも、40歳を過ぎたら、年に1度は検査を行いましょう。

当院の胃内視鏡検査が 苦しくない4つの理由

- 1 鼻から入れるため「オエッ」となりません**
当院では、口からの検査に比べ、喉の奥を刺激しない経鼻内視鏡検査を採用しています。
- 2 検査中に医師と会話ができます**
鼻から内視鏡を入れるので医師と会話も可能です。(鎮静剤不使用の場合)
- 3 体への負担が少ない検査が可能です**
経鼻内視鏡は細く柔らかいため、体への負担が少なくなります。また鎮静剤を使用することで眠っている間に検査が終わります。
- 4 最新の内視鏡システムを導入し、検査時間を短縮**
検査時間はたったの5分!当院の内視鏡は、高画質で、吸引スピードも早いので短時間での検査が可能です。

大腸内視鏡検査

大腸がんは、女性のがん死亡原因第1位、男性でも第3位です。

大腸がんの死者数はこの20年で2倍以上に増え、現在日本の女性のがん死亡原因第1位、また男性では肺がん、胃がんについて第3位となっています。



大腸内視鏡検査(大腸カメラ)とは?

大腸ポリープ、大腸がんなどの早期発見・治療に用いられる検査です。

大腸全体を詳しく観察できるため、小さな病変や出血の様子なども確認することができます。大腸がんの85%が良性のポリープから進展してがんを発症するため、ポリープのうちに発見し切除すれば、大腸がんにならず根治できる可能性が高くなります。

当院の大腸内視鏡検査の 2つのメリット

当院では無送気軸保持短縮挿入法にて検査を行っています。

メリット1

現時点でもっとも安全性の高い挿入方法です。

「無送気軸保持短縮挿入法」では、空気をほとんど入れず、丁寧に腸を折りたたんで挿入するため、検査で腸が傷つく危険が圧倒的に少なくなります。多くの医療機関で行われている「ループ挿入法」で無理にカメラを押し込むと、腸が傷つき、最悪の場合、腸が破れてしまい、緊急手術が必要となることもあります。「無送気軸保持短縮挿入法」は経験豊富な熟練した技能を持つ医師のみができる手技です。

メリット2

強力な鎮静剤ではなく、軽い鎮静剤で済むため体に優しい。

「無送気軸保持短縮挿入法」で検査を行う場合、腸に負担が少なく痛みが少ないため、強力な鎮静剤は必要ありません。ほとんどの方が、軽い鎮静剤でうとうとしているうちに検査は終了します。そのため強力な鎮静剤を必要とする「ループ挿入法」よりも体への負担が少なく済みます。